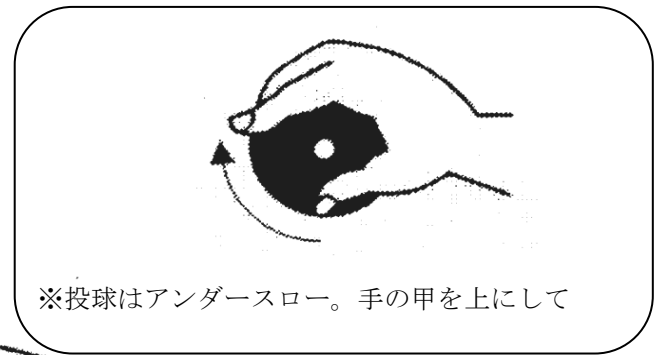


# ニチレクボール (室内用ペタンク)

岩手県立県北青少年の家



送球サークル



※投球はアンダースロー。手の甲を上にして

送球

ビュット

A

B



概要	赤いサークルの中に立って黄色の標的球（ビュット）に向かって2チームが、それぞれ赤と青のボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競うゲーム。
場所	プレイホール、スポーツホール
所要時間	設定なし。
準備	ビュット、ボール（12個）、サークル、得点表、筆記用具
活動内容	<p>競技者を2チームに分け、それぞれ赤と青のボールを分け合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技者2名の場合…一人の持ちボールは6個でプレイ。</li> <li>・競技者4名の場合…一人の持ちボールは3個でプレイ。</li> <li>・競技者6名の場合…一人の持ちボールは2個でプレイ。</li> </ul> <p>① A・B両チームの代表がじゃんけんをする。…かりにAチームが勝ったとする</p> <p>② Aチームがサークルを置いて、その中からビュットを転がすように投げる。 (距離は6メートル以上、10メートル以内)</p> <p>③ Aチームがビュットに近づけるように送球。</p> <p>④ Bチームがビュットに近づけるように送球。</p> <p>⑤次は、ビュットから遠いボールのチームが送球。</p> <p>⑥同様に次も、ビュットから遠いボールのチームが送球。つまり相手のボールより近くなるまで投げる。 しかし、仮にAチームがボールを全て投げ終わりBチームに残りのボールがあればそのボールもさらに得点アップするために送球する。</p> <p>⑦ボールをすべて投げきって1セットが終了。 負けチームのベストボールが基準となり、それより近い勝ちチームのボールの個数がそのまま得点となる。 したがって負けチームの得点は常に0ということになる。</p> <p>⑧前のセットで勝ったチームが次のセットで送球サークルを置いて、ビュットを転がしてゲームを進める。</p> <p>13点先取。ビュットに当てて動かすことも認められているので、常に大逆転の可能性がある。ビュットに近い相手ボールをはじき飛ばすこともOK。</p>
備考	休憩時間の利用も可。

※用具の取り扱いと事故防止には十分注意すること。